

## 佐伯港女島地区岸壁改良工事現場見学会を開催しました。(H30.8.22)

平成30年8月22日(水)に大分県佐伯市の佐伯港で、佐伯市役所と佐伯商工会議所の職員(13名)を対象とした現場見学会を開催しました。これは、同商工会議所の要請を受け、工事受注者(みらい建設工業(株))と共同開催したものです。

この見学会では、佐伯港(女島地区)の2つの岸壁間にある未整備区間(70m)にジャケットを据え付けた模様を映像で説明し、その後、実際の現場を見学して頂きました。

佐伯市は、平成30年7月に「佐伯港クルーズ客船受入推進協議会」を設立し、来年秋頃の初入港を目指した官民連携によるクルーズ船の誘致活動を行うなど、地元からは、この事業に対する期待が寄せられています。

別府港湾・空港整備事務所では、今後の佐伯港の利用活性化や地元の発展に貢献するため、引き続き本事業を着実に進めていきます。



—事業概要、工事概要説明及び現地見学の状況—



—H30.7.14(土)に実施した岸壁改良工事の施工状況(ジャケット据付)—

## ～佐伯港（女島地区）岸壁改良工事の概要～

佐伯港女島地区の岸壁未整備区間（延長 70m）にて岸壁本体部のジャケット据付を実施するもので、既存岸壁と一体（総延長 720m）となり、岸壁を利用しながら老朽化対策を実施することが可能となる他、今後の荷役作業の効率化も図られます。



### 【参考】ジャケット工法とは・・・

- ジャケットは、鋼管で組み立てた立体トラス構造の構造物です。
- 杭に被せる格好となることから、上に羽織るという意味で「ジャケット」と呼ばれます。
- ジャケットは工場で製作するため、現地施工期間を短縮できるメリットがあります。

